

## 民間奨学団体・地方自治体奨学金採用者数(平成28年度実績)

### 【民間奨学団体(東日本大震災以外)】

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	H28年度採用者数 ※1	在籍奨学生数 (H29.3.31現在) ※2	募集人数 ※3	応募人数 ※3	H27年度採用者数	27年度実績との差
1	7月中旬	大学経由	種とまと財団	給与	学部 50,000 大学院 80,000	進級後の学部4 年次1年間,ま たは 進学後の修士 課程2年間	理学部、工学部の学部3年次または本学の理学院、生命 科学院、工学院、総合化学院、情報科学研究科、環境 科学院の修士課程への進学が決定している学部4年次	民間のみ不可	1	1	1	2	1	0
2	9月上旬	大学経由	林レオロジー記念財団	給与	学部生 30,000 大学院生 50,000	学部3年次に進 級・修士1年次 に進学する者 2年 学部4年次・修 士2年次に進級 する者 1年	「食品産業に関する」理学・工学・農水産学・生命科学等 分野の学問の習得または学術研究を志す学部生及び大 学院生(来春に学部3～4年次または大学院1～2年次に 進級・進学予定の者)	可	1	1	各研究 科・各学 部5名以 内	9	2	△1
3	9月中旬	個人申請	ヤマハ音楽振興会	給与	100,000	最長3年	13歳以上20歳以下の音楽家・音楽学習者で日本在住 の者	音楽以外は貸与の み可	—	0	—	—	—	—
4	10月上旬	大学経由	ヨネックススポーツ振興財団	給与	50,000以内	1年	大学又は大学院に在学し、体育学等を専攻する学生、 又はスポーツを積極的に行う学生	可	0	0	10名程度	4	—	—
5	10月下旬	個人申請	さぼろと21	給与	生活支援プログラム:12-36万/年 坪井一郎・仁子 学生支援プログラム: 学部 40-80万/年 大学院 60-100万/年	1年	インドシナ難民・条約難民、中国帰国者、日系定住者 (中南米など)の子弟等であり(在留資格が留学の者を除 く)、 来年度において 生活支援プログラム:学部生 坪井一郎・仁子学生支援プログラム:学部3年次以上・大 学院生	可	—	0	—	—	—	—
6	11月下旬	大学経由	同慶育成会	給与	30,000	最短修業年限 (最長2年)	平成28年4月に4年制学部の3年次に進級し、ジャーナリス トあるいはジャーナリズム研究者を志望する者	可	0	1	2	0	1	△1
7	12月上旬	個人申請	旭化成奨学生	貸与	第1種 100,000 第2種 50,000	1年	理系の分野を専攻する者で、2016年度に6年制学士課 程・修士課程・博士課程を卒業・修了する者 ※旭化成に入社した場合は、会社規定により返済を免除 される	—	—	0	—	—	—	—
8	12月上旬	個人申請	日台文化交流青少年スカラシップ	給与	大賞 100,000 優秀賞 50,000 (一度のみ支給) その他賞あり	1年	学部生、大学院生	—	—	0	全国で若 干名	—	—	—
9	12月上旬	大学経由	江間忠・木村振興財団	給与	20,000	最短修業年限	学部生又は大学院生(修士課程)で森林・木材学分野を 専攻している者	貸与のみ可	3	3	1～2	4	—	—
10	12月下旬	個人申請	明光教育研究所	給与	授業料、入学金など年額最大500,000	1年	ひとり親家庭、健康上の理由で保護者が就労困難である など、経済的理由で学習の機会に恵まれない大学生	JASSO・地方公共 団体は可	—	0	—	—	—	—
11	1月上旬	個人申請	Japan-IMFスカラシップ・プログラム	給与	学費全額及びその他必要経費等	2年	マクロ経済学の実務専門家としてIMFで働くことを目指す日 本人学生で、海外の大学でマクロ経済学博士課程に在 学中、もしくは同課程に出願中の者	—	—	0	—	—	—	—
12	1月下旬	大学経由	帝人奨学会(修士課程)	貸与	80,000	最短修業年限	医・薬・バイオ・理工・工・情報専攻の学生で修士課程へ の進学が決定している、または見込まれている者 ※一定の条件を満たせば返還が免除される	可	1	2	3～5	2	1	0
13	1月下旬	大学経由	尚志社	給与	学部3・4年 自宅/30,000 自宅外/ 40,000 学部5・6年、修士 自宅/40,000 自 宅外/50,000 博士 自宅/50,000 自宅外/ 60,000 +授業料実費 ※大学院生は入学金実費も支給	最短修業年限	6年制学科の3年次以上、修士1年次または博士1年次	JASSOのみ可	1	4	1	8	1	0

## 民間奨学団体・地方自治体奨学金採用者数(平成28年度実績)

### 【民間奨学団体(東日本大震災以外)】

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	H28年度採用者数 ※1	在籍奨学生数 (H29.3.31現在) ※2	募集人数	応募人数 ※3	H27年度採用者数	27年度実績との差
14	2月上旬	個人申請	岩園育英財団	給与	年額 250,000	4年 (2年次生は3年)	与えられた枠組みの中で機能する"人材"ではなく、自ら新しい枠組みを創造しようとする学部1年次生 ※条件を満たせば学部2年次生も出願可能	可	—	0	全国で10	—	—	—
15	2月上旬	個人申請	北野生涯教育振興会	給与	年額 200,000	1年	4年制大学および大学院において科目等履修生として1年間の受講(前期、後期を通して4単位以上)を予定している者	—	—	0	—	—	—	—
16	2月上旬	大学経由	MHIみらい奨学金	給与	120,000	2年	修士課程1年次に在籍する女子学生(私費外国人留学生を含む)で、化学、電気・電子、機械、土木・建築、原子力等の理工系分野を専攻する者	貸与のみ可	0	1	1	3	1	△1
17	2月上旬	大学経由	大西・アオイ記念財団	給与	80,000	最短修業年限	香川県内の高等学校等を卒業し、大学・大学院に在学する者(年齢・成績・所得要件あり)	可	0	0	全国で10 ~15	3	—	—
18	2月中旬	大学経由	吉田育英会ドクター21	給与	200,000および学校納付金等 (上限2,500,000)	最短修業年限	来春(又は今秋)、自然科学系(医・歯・獣除)の博士課程へ進学する者	貸与のみ可	0	0	2	4	0	0
19	2月中旬	大学経由	吉田育英会マスター21	給与	80,000または学校納付金 (上限2,500,000)	最短修業年限	来春(又は今秋)、自然科学系(医・歯・獣除)の修士課程へ進学する者	貸与のみ可	2	1	2	5	0	2
20	2月中旬	個人申請	常盤奨学金	貸与	30,000 理系 35,000	最短修業年限	福島県いわき市、茨城県北茨城市及びその周辺地域出身の学部生	—	—	0	全国で12	—	—	—
21	2月中旬	大学経由	JT国内大学奨学金	給与	入学科・授業料相当額 月額50,000(自宅外生は100,000) ※自宅外生は+入学一時金	最短修業年限	家計支持者による学費の支弁が困難で、真に経済的援助を必要としており、学業・人物ともに優秀である学部1年次生	不可	0	1	1	1	1	△1
22	2月中旬	個人申請	日本通運育英会	貸与	自宅 15,000 自宅外 20,000	最短修業年限	学部1~2年次生	可	—	0	全国で66	—	—	—
23	2月下旬	大学経由	戸部眞紀財団	給与	50,000	1年	学部3年次以上および大学院で化学・食品科学、芸術学、体育学、経営学を専攻する者	可、ただし給与と併給の場合は半額となる	2	4	2	5	3	△1
24	2月下旬	個人申請	戸部眞紀財団(公募)	給与	50,000	1年	学部3年次以上および大学院で化学・食品科学、芸術学、体育学、経営学を専攻する者(留学生可)	可、ただし給与と併給の場合は半額となる	1	1	全国で40	—	0	1
25	2月下旬	大学経由	山岡育英会	給与	大学院 60,000	最短修業年限	工・農学院の修士1年次生	—	2	4	工1 農1	2	2	0
26	2月下旬	大学経由	大林財団	給与	50,000	3年	都市に関連ある分野の実業、実務又は学術研究に将来従事しようとする学部2年次生	JASSO、大学の奨学金のみ可	1	3	2	3	1	0
27	2月下旬	大学経由	旭硝子奨学金	給与	修士 40,000 博士 100,000	最短修業年限	・化学、機械または電気専攻の修士課程1年 ・化学、機械または電気専攻の博士後期課程1年	修士…可、博士… JASSOのみ可	2	2	修士1、博1	10	0	2
28	3月上旬	大学経由	森下育英会	給与	35,000	最短修業年限	学部1年次生(大阪府出身者)	—	1	3	3~5名程度	3	0	1
29	3月上旬	個人申請	似鳥国際奨学財団	給与	【A種】 110,000 【B種】 60,000	1年	「日本国籍」を有し、学部3年次以上に正規生として在籍する者であり、学業、人物ともに優秀で健康であり、国際理解と国際間の友好親善に寄与できる者	A種は不可、B種は 貸与のみ可	1	1	全国で最大50	—	—	—
30	3月上旬	学経由・個人申請	鹿野学術振興財団	給与	年額 600,000	1年	科学技術関係の分野を専攻する学部1年~3年(6年制の場合は1年~5年)または修士1年で、卒業後は製造業への就職を希望する者	JASSOのみ可	0	0	若干名	6	0	0
31	3月中旬	個人申請	トヨタ女性技術者育成基金	給与	指定する金融機関から借入した奨学融資金の借入期間中の利息	最短修業年限	工学系を専攻し、4月現在学部1年次、または今年度4月に高等専門学校から編入し、学部3年次に在学する女子学生	可	—	0	全国で118	—	—	—

## 民間奨学団体・地方自治体奨学金採用者数(平成28年度実績)

### 【民間奨学団体(東日本大震災以外)】

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との供給	H28年度採用者数※1	在籍奨学生数(H29.3.31現在)※2	募集人数	応募人数※3	H27年度採用者数	27年度実績との差
32	3月中旬	大学経由	山口正栄記念奨学財団	給与	学部 20,000 大学院 25,000	最短修業年限	理工学系の学部3年・大学院修士1年次生(北海道内の住民)	可	5	12	全道で学部7、修士7	14	7	△2
33	3月中旬	大学経由	佐藤奨学会	給与	学部 25,000 大学院 30,500	最短修業年限	学部生、大学院生	可	0	0	1	4	0	0
34	3月中旬	大学経由	三菱UFJ信託奨学財団	給与	学部 35,000	最短修業年限	法、経済、工、理、農各学部の2年次生	可	2	10	学部2	4	7	△5
35	3月中旬	大学経由	エス・シー・ビー育英会	貸与	50,000	最短修業年限	大学院博士前期課程(修士課程)1年次に在学し、化学に関わる研究内容を専攻していること	可	0	0	若干名	0	-	-
36	3月下旬	大学経由	日本証券奨学財団	給与	学部生(自宅) 35,000 (自宅外) 45,000 修士(自宅) 40,000 (自宅外) 50,000 博士(自宅) 45,000 (自宅外) 55,000	最短修業年限	・学部2年次生 ・大学院生(修士課程又は博士課程の1年次生)	JASSO等は可	3	7	3	14	3	0
37	3月下旬	大学経由	住友電工グループ社会貢献基金	給与	30,000	最短修業年限	理工系専攻で修士課程1年次に在籍する学生	貸与のみ可	1	2	1	2	1	0
38	3月下旬	大学経由	森下仁丹奨学会	給与	30,000	最短修業年限	学部生、大学院生	貸与のみ可	0	1	1	1	0	0
39	3月下旬	個人申請	池田育英会トラスト	給与	17,000	最短修業年限	愛媛県内の高校卒、または愛媛県居住者の子弟である学部学生(2年次以上)及び大学院生	可	-	0	全国で6名	-	-	-
40	3月下旬	大学経由	竹中育英会	給与	80,000	最短修業年限	学部2年次生及び大学院生 ※大学院生については、学部からの継続者	貸与のみ可	5	10	5	5	2	3
41	3月下旬	大学経由	日揮・実吉奨学会	給与	年額 300,000	1年	理工学系(農・水産・獣医を含み医・歯・薬学系を除く)の学部生及び大学院生	可	13	13	13	36	10	3
42	3月下旬	大学経由	栗林育英美術財団	給与	学部 25,000 大学院 30,000	最短修業年限	・学部1年次生 ・大学院(修士)1年次生	貸与のみ可	5	16	学部3 修士3	22	6	△1
43	3月下旬	大学経由	阪和育英会	貸与	50,000	最短修業年限	学部生	-	1	1	1	1	0	1
44	3月下旬	大学経由	フジシールパッケージング教育振興財団	給与	学部 50,000 大学院 60,000	最短修業年限	・理工学系(応用化学等)の学部1年次生 ・理工学系(応用化学等)の修士1年次生	JASSOのみ可	1	1	学部1 修士1	1	0	1
45	3月下旬	大学経由	工藤育英会	給与	20,000	最短修業年限	北海道出身の学部生	可	0	2	2名程度	11	1	△1
46	4月上旬	大学経由	榎山奨学財団	給与	40,000	4年	学部1年次生(6年制学部・学科決定者を除く)	貸与のみ可	1	4	1	3	1	0
47	4月上旬	大学経由	中部奨学会	給・貸	学部(貸与)35,000 修士(貸与)60,000 博士(給与)50,000	最短修業年限	学部生、大学院修士課程の学生及び大学院博士課程の学生	可	1	1	学部10 修士5 博士6	24	-	-
48	4月上旬	大学経由	味の素奨学会	貸与	学部生 (自宅)30,000 (自宅外)35,000 大学院生 (自宅)40,000 (自宅外)45,000	最短修業年限	大学の専門課程(3年次生以上)及び大学院で化学をはじめとする理系全般の学科を専攻する学生	可	0	0	全国で15	0	0	0

## 民間奨学団体・地方自治体奨学金採用者数(平成28年度実績)

### 【民間奨学団体(東日本大震災以外)】

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との供給	H28年度採用者数※1	在籍奨学生数(H29.3.31現在)※2	募集人数	応募人数※3	H27年度採用者数	27年度実績との差
49	4月上旬	大学経由	日鉄鉱業奨学会(給与)	給与	25,000	2年	鉱物資源の開発、地学、物理探査、機械、電気、土木及び化学を専攻する学部3年次生並びに大学院修士課程1年次生	貸与のみ可	2	3	2	7	1	1
50	4月上旬	大学経由	上田記念財団	給与	30,000	2年	土木・建築系の学部3年または修士1年	可	1	2	1	1	1	0
51	4月中旬	大学経由	川村育英会	給与	学部生 30,000 大学院生 60,000	最短修業年限	化学系専攻の大学院修士課程1年次生及び学部2年次生(6年制学部在籍者を除く)	可	0	4	学部1 修士1	2	2	△ 2
52	4月上旬	大学経由	春秋育英会	給・貸	30,000 (給与 20,000, 貸与10,000)	最短修業年限	学部生(卒業時の年齢が26歳を超えないもの)	可	1	4	1	6	1	0
53	4月上旬	大学経由	山田育英会	給与	20,000	最短修業年限	学部1年次生(外国人留学生含む)	可	4	17	4	10	4	0
54	4月中旬	大学経由	中村積善会給費奨学生	給与	30,000	最短修業年限	学部生、大学院生	可	2	3	2	32	1	1
55	4月中旬	大学経由	中村積善会給費併用型奨費奨学生	給・貸	70,000(貸費50,000・給費20,000)	最短修業年限	学部生、大学院生	給与のみ可	2	3	2	8	0	2
56	4月中旬	大学経由	小笠原アカデミー教育振興財団	貸与	25,000	最短修業年限	道南(渡島・檜山)地方の住民の子女である学部生及び大学院生	可	0	0	制限なし	0	0	0
57	4月中旬	大学経由	日鉄鉱業奨学会(貸与)	貸与	30,000または15,000	最短修業年限	学部生	—	1	2	1	1	1	0
58	4月中旬	部局経由	古屋亨記念奨学基金	給与	50,000	最短修業年限	学部1年次生(法学部所属学生対象)	—	—	0	—	—	—	—
59	4月中旬	大学経由	戸田育英財団	給与	30,000	最短修業年限	学部1、2年次生(医学部・薬学部・歯学部・獣医学部を除く)	JASSOのみ可	1	4	1	1	2	△ 1
60	4月中旬	大学経由	あしなが育英会	貸与	一般 40,000 特別 50,000	最短修業年限	保護者が病気・災害・自死などで死亡、またはそれらが原因で著しい後遺障害を負い学資の支弁が困難である学生(25歳未満の学部生)	可	1	1	全国で160	—	0	1
61	4月下旬	個人申請	交通遺児育英会	貸与	学部 40,000, 50,000, 60,000 大学院 50,000, 80,000, 100,000	最短修業年限	保護者等が交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生	可	1	3	学部300 院20	—	0	1
62	4月中旬	大学経由	MHPSみらい奨学金	給与	120,000	2年	修士課程1年次に在籍する女子学生(私費外国人留学生を含む)で、機械、電気・電子、化学等の理工系分野を専攻し、将来火力発電システム・環境分野におけるエンジニアとしてグローバルに活躍する意欲のある者	貸与のみ可	0	0	2	3	0	0
63	4月中旬	大学経由	東和食品研究振興会	給与	30,000	1年	学部2年次以上及び大学院生で食品科学に関する分野を専攻、研究している者	可	1	1	5	5	2	△ 1
64	4月下旬	大学経由	フジクラ育英会	貸与	学部 30,000 大学院 40,000	最短修業年限	学部生、大学院生(学部生優先)	—	1	2	1	1	0	1
65	5月上旬	部局経由	在日朝鮮人奨学生	給与	学部1年 10,000 学部2年以上 15,000	1年	学部に在籍する在日朝鮮人学生	貸与のみ可	—	0	—	—	—	—
66	5月中旬	部局経由	CWAJ視覚障害学生奨学金	給与	年額 1,500,000	1年	1～6級の視覚障害のある者で、2017年3月までに国内の4年制大学の2学年を終了している者、または2017年3月までに国内の4年制大学を卒業し、2017年4月から2018年3月の間に国内の大学院に学位取得のために在学している学生	年額100万円を超えなければ可	—	0	2	—	—	—
67	6月下旬	部局経由	大学女性協会	給与	(年額) 一般 200,000 福祉・学部 100,000 福祉・大学院 200,000 医学 300,000	1年	一般:大学院生 福祉:身体に障害のある学部・大学院生 医学:医・歯・薬学専攻の大学院生 いずれも1年以上大学に在籍している女子学生	—	0	0	1部門1名	4	2	△ 2

## 民間奨学団体・地方自治体奨学金採用者数(平成28年度実績)

### 【民間奨学団体(東日本大震災以外)】

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	H28年度採用者数※1	在籍奨学生数(H29.3.31現在)※2	募集人数	応募人数※3	H27年度採用者数	27年度実績との差
68	6月下旬	部局経由	清水育英会	給与	50,000	最短修業年限	建築、土木又は都市計画等を専攻する学部2～4年次生、修士課程1～2年次生	可	4	4	各学年1	5	-	-
69	7月中旬	部局経由	日鉄鉱業奨学会(単年給付)	給与	25,000	1年	鉱物資源の開発、地学、物理探査、機械、電気、土木及び化学を専攻する学部4年次生並びに大学院修士課程2年次生	貸与のみ可	1	1	1	3	-	-
70	-	大学経由	北海道大学クラーク記念財団	貸与	50,000	最短修業年限	学部生	-	-	3	募集終了	-	-	-
71	-	個人申請	ニビキ育英会	給与	14,000	最短修業年限	福岡県に居住する者の子弟	-	-	1	-	-	0	0
72	-	個人申請	伊藤謝恩育英財団	給与	60,000	4年	日本の高等学校の3年に在学し、2016年に指定大学へ入学することを旨とする19歳未満の者(留学経験者は満20歳未満)	-	1	11	-	-	4	△3
73	-	大学経由	井上育英会	貸与	自宅 28,000 自宅外 30,000	最短修業年限	学部2年次生	-	4	15	4名程度	5	5	△1
74	-	個人申請	スルガ奨学財団	給与	40,000	4年	※高校予約翌年度に大学進学予定の者	可	1	1	-	-	0	1
75	-	部局経由	河内奨学財団	給与	40,000	最短修業年限	薬学部1年生対象	-	-	2	-	-	-	-
76	-	個人申請	コカ・コーラ教育・環境財団	給与	15,000	最短修業年限	※高校予約翌年度に大学進学予定の者	-	-	1	-	-	0	-
77	-	個人申請	JT国内大学奨学金(高校予約)	給与	50,000 授業・入学料支給	最短修業年限	家計支持者による学費の支弁が困難で、真に経済的援助を必要としており、学業・人物ともに優秀である学部1年次生(高校手続き)	不可	0	2	-	-	1	△1
78	-	部局経由	長井記念薬学研究奨励支援事業	貸与	50,000	3年	生命科学院所属学生対象 薬学研究の分野で、4年制博士課程あるいは大学院博士後期課程に進学を希望する者と在籍者	-	0	1	-	-	-	-
79	-	大学経由	ミュゼ財団	給与	30,000	最短修業年限	4年制学部在籍する2年次生の女子学生	貸与のみ可	0	2	-	-	1	△1
80	-	部局経由	東燃ゼネラル石油研究奨励・奨学財団	給与	30,000	修士2年終了まで(最長4年)	工学部・工学院所属学生対象 学部3年～大学院修士課程2年に在籍する者	-	0	3	-	-	2	△2
81	-	大学経由	種とまと財団(継続)	給与	学部 50,000 大学院 80,000	最短修業年限	理工学系の修士1年で学部奨学生であった者	民間のみ不可	0	1	-	-	-	-
82	-	個人申請	電通育英会(大学)	給与	50,000	最短修業年限	※高校予約指定高校在籍で、指定大学の文系学部に進学する者	-	3	5	-	-	2	1
83	-	大学経由	涌池奨学財団	給与	24,000	最短修業年限	大学院生	-	1	1	1	9	1	-

## 民間奨学団体・地方自治体奨学金採用者数(平成28年度実績)

### 【民間奨学団体(東日本大震災以外)】

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	H28年度採用者数 ※1	在籍奨学生数 (H29.3.31現在) ※2	募集人数 ※3	応募人数 ※3	H27年度採用者数	27年度実績との差	
84		個人申請	曹洞宗育英会	給与	30,000	最短修業年限	学部生及び大学院生 (曹洞宗門弟の子弟)	-	-	1	-	-	1	△1	
85		部局経由	古野奨学財団奨学金	給与	50,000	最短修業年限	メディア・観光学院所属学生対象 大学院(修士)1年次生(ジャーナリズム、マスコミ関係の研究に従事している、またはジャーナリストを目指している者)	-	0	1	-	-	1	△1	
86		部局経由	ウシオ財団	給与	120,000	最短修業年限	理学院所属学生対象	-	0	1	-	-	2	△2	
87		大学経由	山田育英会(追加)	給与	15,000	最短修業年限	学部1年次生(外国人留学生含む)	可	0	2	-	-	2	△2	
88		部局経由	末延財団	給与	年額450,000	2年	英米法の専任教員を置く法学部3年次在学の者	-	2	2	2	2	-	2	
89		個人申請	帝京育英財団	給与	22,000	最短修業年限	※高校予約 愛媛県出身の学生生徒で、学術優秀、品行方正、身体強健でありながら、経済的理由により修学が困難な者	可	-	1	-	-	-	-	
90		部局経由	東ソー奨学会	貸与	50,000	最短修業年限	学部3・4年生、大学院生	-	1	1	-	-	-	-	
合 計										93	225	-	321	91	2

(給与:71団体 貸与:19団体)

※「給・貸」は貸与に含める

## 民間奨学団体・地方自治体奨学金採用者数(平成28年度実績)

### 【民間奨学団体(東日本大震災)】

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	H28年度採用者数 ※1	在籍奨学生数 (H29.3.31現在) ※2	募集人数	応募人数 ※3	H27年度採用者数	27年度実績との差
1	-	大学経由	双日復興支援教育基金	給与	70,000	最短修業年限	東日本大震災により被災し、家計支持者が被害を受け、経済的に修学継続が困難な者	貸与のみ可	-	6	-	-	4	△4
合 計									0	6	-	-	4	△4

(給与:1団体 貸与:0団体) ※「給・貸」は貸与に含める

## 民間奨学団体・地方自治体奨学金採用者数(平成28年度実績)

### 【地方自治体】

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	H28年度採用者数 ※1	在籍奨学生数 (H29.3.31現在) ※2	募集人数	応募人数 ※3	H27年度採用者数	27年度実績との差
1	1月上旬	個人申請	徳島県奨学金返還支援制度	給与	JASSO無利子奨学金の借受総額×1/2(上限額100万円) JASSO有利子奨学金の借受総額×1/3(上限額70万円)	—	大学または大学院でJASSO等の奨学金の貸与を受けており、卒業または修了後に徳島県内事業所に正規職員として就業を希望する者	—	—	0	—	—	—	—
2	2月下旬	個人申請	山口県高度産業人材確保事業奨学金返還補助制度	給与	奨学金の返還額の全額または一部	—	JASSOの無利子奨学金の貸与を受けている理系大学院生または薬学部生で、修了または卒業後山口県内の製造業に就業することを希望する者	—	—	0	—	—	—	—
3	3月上旬	大学経由	札幌市奨学生(継続)	給与	6,000	1年	札幌市民である(志願者の親又はこれに代わる者が本市内に住所を有する場合を含む)学部生及び大学院生	—	31	31	—	31	31	0
4	3月上旬	大学経由	札幌市奨学生(新規)	給与	6,000	1年	札幌市民である(志願者の親又はこれに代わる者が本市内に住所を有する場合を含む)学部生及び大学院生	—	17	17	全国で25名程度	43	10	7
5	3月上旬	個人申請	松江市奨学生	給・貸	高井奨学金 19,000 ふるさと奨学金 47,000	最短修業年限	父母またはこれに代わる人が松江市に居住する者	可	—	0	—	—	—	—
6	3月中旬	個人申請	福井県ものづくり人材育成修学資金	貸与	60,000	最短修業年限	理工系大学院に在学し、修了後福井県内ものづくり企業に勤務することを希望する者 ※上記企業に7年間勤務した場合、返済を全額免除	可	—	0	全国で15	—	—	—
7	3月中旬	個人申請	沖縄県国際交流・人材育成財団	貸与	学部 45,000 修士 70,000 博士 80,000	最短修業年限	沖縄県内に住所を有する者の子弟	給付のみ可	0	2	全国で80名程度	—	1	△1
8	3月中旬	個人申請	富山県奨学金返還助成制度	給与	奨学金の返還額の全額または一部	—	JASSO第1種奨学金または富山県奨学資金の貸与を受けており、修士課程1年次で工学、理学、農学、薬学を専攻する者、もしくは薬学共用試験に合格した薬学部5年次生	—	0	0	全国で30名程度	—	—	—
9	3月下旬	大学経由	山口県ひとづくり財団	貸与	43,000	最短修業年限	保護者が山口県内に住所を有する学部生	不可	0	1	制限なし	0	0	0
10	3月下旬	大学経由	岐阜県選奨生	貸与	32,000 (日本学生支援機構と併用時は半額)	最短修業年限	岐阜県に居住する者の子弟である学部学生	可	0	0	制限なし	0	0	0
11	4月上旬	大学経由	福島県奨学生	貸与	35,000	最短修業年限	福島県内の高校を卒業した者で県内に6ヶ月以上居住していた者	給与のみ可	0	1	全国で120	0	1	△1
12	4月上旬	大学経由	石川県奨学生	貸与	44,000	最短修業年限	石川県に3年以上居住している者の子弟、学部学生のみ	JASSOは不可	1	3	制限なし	1	0	1
13	4月上旬	大学経由	茨城県奨学生	貸与	40,000	最短修業年限	茨城県に居住する者の子弟である学部生	JASSOは不可	0	3	全国で100名程度	0	1	△1
14	4月中旬	大学経由	富山県奨学生	貸与	自宅 45,000 自宅外 51,000	最短修業年限	富山県に住所を有する者の子弟	給付のみ可	0	1	制限なし	0	0	0
15	4月下旬	大学経由	宮崎県奨学金	貸与	25,000	最短修業年限	宮崎県に本籍を有する者、又は保護者が宮崎県に居住している新入学生	給与のみ可	0	0	全国で5名程度	0	0	0
16	4月下旬	個人申請	深川市立病院薬剤師修学資金	貸与	自宅 70,000以内 自宅外 100,000以内	最短修業年限	国家試験合格後に深川市立病院において薬剤師として勤務する薬学部生	—	—	0	各学年1	—	—	—
17	4月下旬	部局経由	北海道看護職員養成修学資金	貸与	32,000	1年	将来道内において看護業務に従事しようとする学生(学部・修士) ※一定の条件を満たせば返還免除	—	—	0	—	—	—	—



## 民間奨学団体・地方自治体奨学金採用者数(平成28年度実績)

### 【地方自治体】

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	H28年度採用者数 ※1	在籍奨学生数 (H29.3.31現在) ※2	募集人数	応募人数 ※3	H27年度採用者数	27年度実績との差
18	5月上旬	個人申請	清流の園ぎふ大学生等奨学金	貸与	30,000	最短修業年限	岐阜県内の高等学校等を卒業し、大学に在学する者であり、卒業後に岐阜県内で就業する意志のある者 ※返還債務免除条件あり	可	—	0	全国で100	—	—	—
19	5月中旬	個人申請	秋田県育英金	貸与	50,000	最短修業年限	秋田県出身者である学部1年次生	大学月額奨学金 —不可 多子世帯向け奨学金—給付のみ可	—	0	(大学)全国で30 (多子)全国で100	—	—	—
20	5月下旬	個人申請	秋田県奨学金返還助成制度	給与	(一般分)奨学金の2/3 (未来創生分)奨学金の10/10	0	秋田県内就職者(「一般分」「未来創生分」の2種類あり)	—	—	0	—	—	—	—
21	6月上旬	大学経由	福井県大学院奨学生	貸与	修士 84,000 博士 117,000	最短修業年限	福井県内に在住する者の子弟で、大学院生	不可	0	0	全国で若干名	0	0	0
22	6月上旬	個人申請	新潟市奨学生	貸与	年額 400,000	最短修業年限	保護者が新潟市内に住所を有する学部生、大学院生	可	—	0	学部80 (全国)院10(全国)	—	—	—
23	6月中旬	個人申請	鹿児島県大学等奨学金返還支援制度	給与	原則として、大学(学部)在学中に借り受けた奨学金の全額	—	鹿児島県出身者で、大学または大学院を平成29年3月に卒業(修了)予定の者 在学中にJASSO等の奨学金の貸与を受けており、卒業(修了)後に鹿児島県内企業等に就業し、かつ県内居住を希望する者	—	—	0	—	—	—	—
24	6月中旬	個人申請	山口県高度産業人材確保事業奨学金返還補助制度(二次募集)	給与	奨学金の返還額の全額または一部	—	JASSOの無利子奨学金の貸与を受けている理系大学院生または薬学部生で、修了または卒業後山口県内の製造業に就業することを希望する者	—	—	0	—	—	—	—
25	6月下旬	大学経由	新潟県奨学生	貸与	41,000	最短修業年限	新潟県に居住する者の子弟である学部生	JASSO第一種以外可	0	0	全国で72	0	0	0
26	6月下旬	大学経由	宮崎県奨学金(二次)	貸与	25,000	最短修業年限	宮崎県に本籍を有する者、又は保護者が宮崎県に居住している新入学生	給与のみ可	0	0	全国で5名程度	0	0	0
27	7月上旬	個人申請	福井県奨学金返還支援制度	給与	返還計画に基づく通常の奨学金返還額の5年分(上限20万円/年、100万円/人)	—	平成29年3月に県外の大学・大学院を卒業し、4月に福井県内の企業等に就職する見込みの者で、対象業種に技術職として就業する者	—	—	0	全国で30名	—	—	—
28	—	個人申請(出身高校経由)	四日市市奨学会	貸与	23,000	最短修業年限	四日市市に住所を有する者の子弟である学部生	—	0	2	—	—	0	0
29	—	個人申請	沼津市奨学生	給与	年額 120,000	最短修業年限	沼津市に居住する者の子弟である学部生	—	0	1	—	—	0	0
30	—	個人申請	島根県育英金	貸与	70,000	最短修業年限	島根県出身者の学部生、大学院生	—	0	1	—	—	1	△1
31	—	個人申請	岩手県看護職員修学資金	貸与	51,000	最短修業年限	卒業後直ちに岩手県内の特定施設に看護職員として就職することを希望する学生	—	0	1	全国で100名程度	—	1	△1
32	—	個人申請	岩国市奨学生	貸与	25,000	最短修業年限	岩国市に住所を有する者の子弟である学部生	可	0	1	—	—	1	△1

## 民間奨学団体・地方自治体奨学金採用者数(平成28年度実績)

### 【地方自治体】

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	H28年度採用者数 ※1	在籍奨学生数 (H29.3.31現在) ※2	募集人数	応募人数 ※3	H27年度採用者数	27年度実績との差	
33	-	個人申請	常陸大宮市奨学生	貸与	50,000	最短修業年限	常陸大宮市に住所を有する者の子弟である学部生	-	0	1	-	-	1	△1	
34		個人申請	青森県教育厚生会	貸与		最短修業年限	保護者が青森県内に5年以上居住している者	-	1	2	-	-	1	0	
35		個人申請	青森市奨学生	貸与	33,000	最短修業年限	青森市に居住する者の子弟である学部生	-	1	1	-	-	0	1	
36		個人申請	浜松市奨学生	貸与	45,000	最短修業年限	浜松市に住所を有する者の子弟である学部・大学院生	-	1	3	-	-	0	1	
合 計			(給与:10団体 貸与:26団体)					※「給・貸」は貸与に含める		52	72	-	75	49	3

※1: H28年度採用者数は在籍奨学生数に含まれる(内数)

※2: 在籍奨学生数は高校等での予約採用者を含む。また、年度途中辞退者は除く。

※3: 北大からの応募人数